

レジメンcode:	C26-01	備考
適応がん種:	膵・消化管神経内分泌腫瘍	
レジメン名:	Weekly STZ療法	
間隔:	1週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与方法	投与日
	ザノサー	1000	mg/m <sup>2</sup>	点滴(30分)	d1

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A	ポート確認		
2) 生食	500ml	1 袋			
	主管①	点滴	2時間		
3) ホスアプレピタント	150mg	1 V			
生食	100ml	1 本			
	▶側管①	点滴	30 分	主管①開始60分後から	
4) パロノセトロン	0.75mg	1 V			
デキサート	3.3mg	1 A			
デキサート	6.6mg	1 V			
生食	50ml	1 本			
	▶側管②	点滴	15 分	側管①に続いて	
5) ザノサー		1000 mg/m <sup>2</sup>	【ケモセーフ使用】		
生食	100ml	1 本			
	主管②	点滴	30 分		
6) 生食	250ml	1 袋			
	主管③	点滴	1時間		
7) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒			
ルートロック					

〈所要時間 4時間〉

\*本剤に生理食塩液9.5mlを加え溶解する。(溶液1ml中100mg含有)

\*腎毒性予防として飲水を指導する。

\*腎毒性の発現を予防するためにハイドレーションが推奨されている。

(国内臨床試験 投与前600ml 投与後250ml)

\*高度催吐性リスク分類。

\*減量・増量基準あり。

次ページあり

#### <減量基準>

1週間間隔投与法において、以下に示した程度の副作用が認められた場合は、休薬後の投与再開時に、投与量を1段階(250mg/m<sup>2</sup>)ずつ減量すること。ただし、750mg/m<sup>2</sup>未満での投与及び減量後の増量は行わないこと。

副作用	程度
好中球数減少	500/mm <sup>3</sup> 未満
発熱性好中球減少症	Grade 3*
血小板数減少	5万 /mm <sup>3</sup> 未満
非血液毒性(肝転移を有する患者では、 $\gamma$ -GTPを除く)	Grade 3*
血清クレアチニン上昇	施設基準値の1.5倍を超える場合

#### <増量基準>

1週間間隔投与法において、1回1,000mg/m<sup>2</sup>で投与を開始し、12週目までの忍容性が良好な場合には、1回1,250mg/m<sup>2</sup>に増量することができる。さらに18週目までの忍容性が認められる場合には、最大1回1,500mg/m<sup>2</sup>まで増量することができる。